

疆域

〔令義解公式〕凡朝集使略○中北陸道神濟以北謂越中與越後皆乘驛馬、

〔日本地誌提要四十一〕疆域 西ハ越中、西南ハ信濃、南ハ上野、東ハ岩代、東北ハ羽前、西北ハ海ニ至ル、東西凡六拾貳里、南北凡壹拾七里、

島嶼

〔日本實測錄九〕越後國岩船郡 遠測 粟島

〔越後名寄島六〕粟生島。

島ノ長サ南北十七八町、總周リ一里半餘、東西ニ二所村里有、各人家三十軒計宛有之、旅船ノ宿舍二軒有、上泉水屋ト云、瀨波ノ港ヨリ海上七里海有、沖馬卸鼻ヨリ海上四里餘ナリ、海路往來ノ船ノ泊處能間有、澳乘船難風ニ會テ、多クハ皆此島ヲトリ、危キヲ免レ、不通ノ大荒ニモ、爰ナル間ニテハ、船略動計ニテ、波ノ打カクル事ナシ、僅ニ小キ島ナレ共、難船ヲ助ル事若干算ヘ盡スベカラズ、最愛タキ島也、常ノ産ハ、山畠ヲ耕作シ、漁ヲ世渡トス、又小船ヲ造作シ、乗ル在、牧馬有、一年交リニ峯ヲ追越テ、駒ノ棲シ址ニ耕作シ、粟黍ヲ蒔植ル、馬ハ小ナリ、觀音寺ト號シ、曹洞派有、本尊千手觀音也、長五尺計、

地勢

〔易林本節用集下〕越後越州 上管七郡、四方六日、山當南、帶北海、五穀不熟、桑麻多、大々上國也、

〔日本地誌提要四十一〕形勢 陸羽ノ大山脈、東北ヨリ來リ、蜿蜒南方ヲ繞リ、信野ニ連ル、洪流縱

横、州内運輸極テ便、其土廣衍、其產富賑、機織ニ巧ニシテ、生理常ニ優ナリ、民俗較柔惰ニ流ル、冬春ノ間積雪丈餘、簷下路ヲ通ジ、河水權行スベシ、

〔東遊雜記五〕越後の國は、北方へ細長く出はりし國にて、凡圖のごとくに土人の物語りなり、四方の山々を見るに、土色しろくとして、遠見雪のごとし、凡山多き所也、

〔越後名寄國〕越後大々上國也、凡其形狀計、南西ヨリ東北へ縱長ニシテ、越中ノ國境市振ノ驛ヨリ、出羽ノ國域府屋ノ驛迄、凡八十有餘里、横ノ廣サヲ計見ル、處三十里ニ及ベリ、最不可爲小國也、東